

蔵出しお宝ニュース

— 第 38 号 —

三原市歴史民俗資料館では、所蔵資料の本格的な整理・展示のリニューアルに取り組んでいます。本紙では、資料館内で永らく眠っていた三原市ゆかりの貴重な資料の解説と行事の案内・紹介などを随時行って参ります。

三原ふるさと子ども博士講座 はじまる



平成 26 年 5 月 11 日（日）から三原ふるさと子ども博士講座が始まりました。この講座は、将来の三原市を担っていく子どもたちを対象に行うものです。三原の自然や歴史・産業などを実際に見たり体験したりすることで三原のすばらしさを感じてもらい、今以上に三原を好きになって自分たちのふるさを誇りに思ってもらえるよう、また、そのことを次の世代に伝えてもらえるよう願って開催するもので、3年目をむかえました。

第1回目は開講式の後、午前はやっさ踊り体験教室、午後から資料館と消防署で江戸時代と現代の消火活動体験を行いました。

資料館には江戸時代の火事装束と龍吐水りゅうどすいを保存しており、江戸時代の消火方法について解説しました。続いて消防署へ移動し、久井歴史民俗資料館に所蔵している小型の龍吐水を2台用いて、実際に放水してみました。その後は現代の消防について、消防署の方に詳しく説明をしていただきました。

1回目の講座ということで、受講した子どもたちは幾分緊張気味でしたが、いっしょに体を動かすことでだんだん笑顔が見えてきました。

ぜひこの三原ふるさと子ども博士講座を通して三原の魅力を体感してください。



(上) 龍吐水を体験している様子
(下) 消防車をバックに記念撮影

「なつかしの三原古写真と昭和雑貨展」を開催



岡村徳男氏 撮影「ベイゴマ遊び」
昭和44（1969）年 西町

平成26年6月1日（日）から6月30日（月）まで、資料館1階にて、「なつかしの三原古写真と昭和雑貨展」を開催いたします。

近代化が大きく進む今日において、戦後日本が歩んできた日常生活を懐かしむ人々も多くなってきました。今回の展示では、三原市立中央図書館が所蔵する、三原市西町在住の岡村徳男氏が撮影した戦後三原の古写真パネルと、三原市歴史民俗資料館所蔵の昭和期に使われた生活雑貨の資料を紹介いたします。

現在、高齢者を対象に、青少年期に使われていた資料を見ていただき、若い頃の^{かいそうほう}ことを思い出し脳の活性化をはかる回想法が全国的に注目されています。また、子どもたちからすれば見たことがない資料も多くあるのではないのでしょうか。

なつかしの三原風景写真やレトロな雑貨を前に、一昔前の生活を懐古していただければ幸いです。

おき どこ しゅん じゅう
置 床 春 秋



掛物 ^{いなだ そほう} 稲田 素邦 筆 飛燕之図

花入 ^{ほかい} 行器

行器とは、食べ物を盛って人に贈ったり、他所へ運んだりするための器です。

花 季のもの



左から扇風機・豆腐籠・蓄音機

発行 平成26（2014）年 5月30日
〒723-0015 三原市円一町二丁目3番2号
三原市歴史民俗資料館

TEL 0848-62-5595

※本冊子に掲載の写真などは、許可なく転用なされないようお願い申し上げます。